

# 製品安全データシート

作成日：2002年4月1日  
改訂日：2024年12月10日

## 1. 化学品及び会社情報

---

化学品 ジペンタエリスリトール (Di-Pentaerythritol)  
供給者の会社名称 アーク株式会社  
本社住所 大阪市中央区安土町3-5-13  
本町ガーデンシティテラス3階  
電話番号 06-6563-7710  
FAX 番号 06-6563-7720  
緊急連絡電話番号 06-6563-7710

## 2. 危険有害性の要約

---

GHS 分類 JIS Z 7252、7253：2019 使用  
物理化学的危険性 該当区分なし  
健康に対する有害性 該当区分なし  
環境に対する有害性 該当区分なし  
GHS ラベル要素  
絵表示又はシンボル なし  
注意喚起語 なし  
危険有害性情報 なし  
注意書き なし

## 3. 組成、成分情報

---

単一製品・混合物の区別 化学物質  
化学名 ジペンタエリスリトール  
濃度又は濃度範囲 >90%  
化学式 C (CH<sub>2</sub>OH) 4  
CAS No. 126-58-9  
化審法 (2) -419  
安衛法 公表化学物質

## 4. 応急措置

---

眼に入った場合  
直ちに大量の水で少くとも15分間洗い流す。  
皮膚に付着した場合  
直ちに大量の石けんおよび水で洗い流す。  
汚染した衣服は再使用前に洗浄する。  
吸入した場合  
新鮮な空気の場所へ移す。  
呼吸停止の場合は人工呼吸。  
呼吸困難な場合は酸素吸入。  
飲み込んだ場合  
誤飲した場合は口を水ですすぐ。

医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

---

### 消火方法

適切な消火剤 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂類

使ってはならない消火剤 棒状放水

### 特有の消火方法

消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

### 消火を行う者の保護

消火作業の際は必ず保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

---

掃除、廃棄用袋に収納し保管。

ダストを生じさせない。

漏洩物を完全除去、区域換気、清掃。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

---

### 取扱い

粉塵の吸入を避ける。

眼、皮膚、衣服との接触を避ける。

取扱後後完全に洗浄。

粉塵爆発のおそれ。

### 保管

密封。

冷乾燥場所に保管。

多くの粉体材料同様に粉末爆発を引き起こすことがある。

## 8. 暴露防止及び保護措置

---

管理濃度 未設定

許容濃度 日本産衛学会 (2013) 未設定

ACGIH (2013) 未設定

### 設備対策

安全管理・ガスの検知

測定器

検知管

### 貯蔵上の注意

密封。

冷乾燥場所に保管。

多くの粉体材料同様に粉末爆発を引き起こすことがある。

### 保護具

換気。

呼吸用保護具。

保護手袋。

安全シャワー。

安全ゴーグル。

洗眼器。

## 9. 物理的及び化学的性質

---

物理状態 固体

形状 結晶または粉末

色 白色

臭気 情報なし

融点 221°C (NITE (2013))

沸点又は初留点及び沸騰範囲 356°C (GETTIS(2013))

引火点 >150°C (密閉式) (NITE(2013))

自然発火点 370°C (NITE(2013))

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

下限 情報なし 上限 情報なし

pH 情報なし

溶解度 2.4g/l (20°C) (GESTIS (2013))

オクタノール/水分配係数  $\log Pow=-2$  (SIDS (2002))

## 10. 安定性及び反応性

---

反応性 情報なし

化学的安定性 適切な条件下においては安定

危険有害反応可能性

加熱・燃焼 危険性有

水との接触 危険性無

空気との接触 危険性無

混触危険物質 強酸化剤、強酸、酸クロライド、酸無水物

危険有害な分解生成物 二酸化炭素、一酸化炭素

## 11. 有害性情報

---

急性毒性 情報なし

皮膚腐食性/刺激性 情報なし

眼に対する重篤な損傷性/刺激性 情報なし

生殖細胞変異原性 情報なし

発がん性 情報なし

生殖毒性 情報なし

特定標的臓器毒性 単回ばく露 情報なし

特定標的臓器毒性 反復ばく露 情報なし

誤えん有害性 情報なし

## 12. 環境影響情報

---

生体毒性

魚類 96h LC50 : >500mg/L (*Oryzias latipes*)

甲殻類 情報なし

藻類 情報なし

残留性・分解性 3% (by BOD)、6% (by TOC)、2% (by GC)

既存化学物質安全性点検による判定結果：難分解性

生体蓄積性 (BCF) <0.64 (conc. 892ug/L)、<6.4 (conc. 89.2ug/L)

既存化学物質安全性点検による判定結果：低濃縮性  
土壌中の移動性  
オクタノール/水分配係数 情報なし  
土壌吸着係数 情報なし  
ヘンリー定数 (PaM<sup>3</sup>/mol) 情報なし  
オゾン層への有害性 情報なし

### 13. 廃棄上の注意

---

適切な保護具を着用する。  
地方条例や国内規制に従う。  
許可を受けた産業廃棄物処理事業者に委託する。

### 14. 輸送上の注意

---

国連番号 非該当  
国連分類 非該当  
海洋汚染物質 非該当

### 15. 適用法令

---

消防法 非該当  
毒物及び劇物取締法 非該当  
労働安全衛生法 非該当  
船舶安全法（危規則） 非該当  
航空法 非該当  
化学物質管理促進法（PRTR 法） 非該当

### 16. その他の情報

---

#### 参考文献

①化学品安全管理データブック（化学工業日報社）

#### <コメント>

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。

また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。